

## 国語科学習指導案（例）

指導者 担任教諭（T1）  
栄養教諭（T2）

1 学 年 小学校 第4学年

2 単元名 「おいしいぞ！ひろしま」リーフレットを作ろう」

3 単元について  
（略）

4 単元の目標

- 丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くことができる。  
〔知識及び技能〕（1）カ
- 考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解することができる。  
〔知識及び技能〕（2）イ
- 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。  
〔思考力、判断力、表現力等〕B（1）ウ
- 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。  
「学びに向かう力、人間性等」

5 単元の評価規準

地域の産物や食文化、食に関する歴史等を調べ、それを基に考えたことをリーフレットに書く活動を通じた指導【言語活動例 ア】		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。 （（1）カ） ②考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解している。 （（2）イ）	①「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 （B（1）ウ）	①粘り強く、考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にしながらかき表し方を工夫し、学習の見通しをもって、ふるさとの食のよさについてリーフレットにまとめようとしている。

6 食育の視点

各地域の産物、食文化や食に関する歴史等を理解し、尊重する心をもつ。【食文化】

7 指導と評価の計画（全 10 時間）

次	時	学 習 内 容	評 価			
			知	思	主	評価規準・ 評価方法 等
一	1 ・ 2	○地域の食文化のよさについてリーフレットにまとめ、友達に伝えるという学習の見通しをもつ。 ○教材文や実際のリーフレット数種類を読み比べ、リーフレットの形状やリーフレットに書きまとめるべき情報について整理する。				
二	3 ・ 4 (本時) ・ 5	○リーフレットにどの広島県の郷土料理についてまとめるのかを決め、その情報を収集する。 ○集めた情報を比較したり分類したりし、伝えたいことを明確にする。 ○最も伝えたいことを踏まえ、必要に応じてさらに必要な事柄を調べるとともに、伝えたいことの内容を明確にし、内容のまとまりを意識してリーフレットの構成案(割付案)を作成する。			○	[知識・技能②]ワークシート・振り返りの記述 ・考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解している。
	6 ・ 7	○整理した情報と作成した割付案に基づいてリーフレットを作成する。			○	[知識・技能①]リーフレット ・丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。 [思考・判断・表現①]リーフレット・ワークシート・振り返りの記述 ・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。
三	8 ・ 9 ・ 10	○友達と、敬体と常体の使い方、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係について気を付けながらリーフレットを読み合う。 ○友達のアドバイスを基に、リーフレットを修正する。  ○学習全体を振り返る。			○	[主体的に学習に取り組む態度①]リーフレット・話し合いの様子・振り返りの記述 ・粘り強く、考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にしながら書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって、ふるさとの食の良さについてリーフレットにまとめようとしている。

8 準備物

動画視聴用機器、タブレット、ワークシート又はノート（児童の記述用）

9 本時の学習

(1) 本時の目標

広島県の郷土料理について、集めた情報を比較したり分類したりすることで、伝えたいことを明確にすることができる。

(2) 学習の展開

	学習活動	◇指導上の留意点 ◆支援を要する児童への手立て		評価規準 (評価方法)
		T1	T2	
導入	1 前時までに学習したことを振り返る。	◇前時までに各班で調べた情報を確認させることで、本時の学習に円滑に入れるようにする。		
	2 本時のめあてを確認する。			
めあて：どのような情報があれば、広島県の郷土料理のよさが伝わるのだろうか。				
展開	3 集めた情報を分類する。	◇児童が集めた情報をグルーピングしながら板書することで、どのような事柄をリーフレットに書けばよいかに気付けるようにする。	◇児童の発表を受け、食の観点でなぜその情報が大切なのかについて価値付ける。	
	4 動画「お好み焼き・ねぎ」を視聴し、さらに集めるべき情報を話し合う。 (グループ→全体)	◇自分たちが調べた以外の事柄を見付けながら視聴し、必要に応じてメモを取るように伝える。 ◇個人で取ったメモの内容をグループで交流する際は、前時までに調べた情報や板書と見比べ、違う部分はどこかを伝えるように促すことで、さらに集めるべき情報に気付けるようにする。 ◇全体交流の際は、ベン図に児童の気付きを整理しながら板書することで、前時までに気付かなかった観点を視覚的に捉えられるようにする。	◇動画には出てこない情報を伝え、児童が各自でリーフレットにまとめていく際の参考となるようにする。	
	5 リーフレットで最も伝えたいことや、リーフレットに入れる情報を整理する。	◇リーフレットの用紙を再度確認させて、全ての情報を入れることはできないことに改めて気付かせ、伝えたいことは何なのか、それを伝えるためにどのような情報が必要なのかを選ばせるようにする。 ◆必ず伝えたいことは何か、言ったりノートに書いたりして言語化させることで、伝えたいことに必要な情報は何か、問いかけながら整理させる。	◇リーフレットに入れるべき情報の参考となるよう、給食の献立を立てるときに気を付けていることや、食べる人への思いを児童に語り掛ける。	

○考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解している。[知・技②]  
(ワークシート、ノート)※次時において記録に残る評価を行う。

終末	6 本時のまとめ、振り返りをする。			
	児童のまとめ例 郷土料理ができた由来、材料の特徴、作っている人や生産者の思いなども入れると、読む人が広島県の郷土料理をもっと食べたいくなるリーフレットになる。			
	7 本時の学習を振り返る。	◇動画を見る前と見た後の違いについて書くよう、振り返りの視点を示す。		
	児童の振り返り例 動画を見るまで、郷土料理の由来について調べたらいいと思っていなかったけど、由来や材料の特徴、料理に関わる人々の思いを見ると、自分も食べたいと思うようになったので、リーフレットに入れるために、もうちょっと調べようと思った。			

10 板書計画

